

世界革命

世界社会主義合衆国樹立をめざし 万国の労働者団結せよ！ 全世界に新しい共産党を組織せよ！

日本革命的共產主義者同盟

(第四インターナショナル日本支部)

1971年9月11日(土)第247号(毎月1・11・21日発行) (昭和46年6月24日第3種郵便物認可) 発行 新時代社 東京都港区芝5-13-17 (第四インターナショナル日本支部)

三里塚一沖縄秋期決戦に勝利せよ

9月15日全国から三里塚へ

して単身歸いぬいた三里塚を打倒し、沖縄・朝鮮人民全国労農人民は勝者となるこの戦争の敗者は六

第一次決戦に突入せよ

四〇〇〇メートル滑走路を政府・公団の墓場とせよ

富村順二〇万人の富村順二は、元々は農業生産者で、後に地主として、また、政治家として、さらに、大企業の経営者として、多方面で活躍した人物です。彼の死後、多くの人々が彼の功業を讃美する言葉を残しています。

命脈づまんとしているが、もとて帝国主義支配に死をうけたのである。

九・基調特別連帶の小戸横山古田著名二三氏即時奪の大運の

自民党政権が誕生すると次第に活動を開始し、主に反対派の議員を攻撃する形で活動を展開する。この活動は、主に保守派議員に対する攻撃から始まり、徐々に左派議員や中立派議員に対する攻撃へと広がる。この活動は、主に保守派議員に対する攻撃から始まり、徐々に左派議員や中立派議員に対する攻撃へと広がる。

第一四回 日本書

を断ち、人民の怒りの大波の可能である。可能性を現実の怒りをわれわれが、どれも取るかいかつてへる。

命的共産主義
訪中・ドル危機
連合空港反対同盟
第一次決戦勝利を

に撃滅する大競争を展開
るにし得るか否かは、帝
の深く強烈に組織し、三

ターゲット 義者同盟

切らねばならぬ。
第二次大戦の勝利をもつて沖縄
軍艦船体競争の勝利の展望を
より広くするだ。

政治集会

第四 インターナル 日 本 革命の任務

八面 フラン工独裁

大井町下車
酒井与七
和植洋三
（シヨナル
ノンヨナル
部）
書記局
「ロッパ
委員会
団体

市の危機は深化する

本号の内容

8

三里塚第三次決戦に勝利せよ

革命の攻勢、帝国主義の危機

三里塚闘争の歴史的特質

第一次決戦・七月闘争は何を教えたか

第一次決戦をいかに闘うべきか

第一回 おとぎの國の御内閣 第二章 おとぎの國の御内閣 第二章

次決戦・七月

争闘の実業家は、その多くが、明治時代から大正時代にかけて、日本の経済発展に大きな影響を与えた。たとえば、松下新之助は、明治時代に「松下電器」を創設し、日本初の電気製品会社として躍進した。また、大正時代には、豊田佐吉が「トヨタ自動車」を創設し、世界で初めて量産化された自動車である「トヨタ」を生み出した。さらに、日立製作所や東芝なども、この時期に急速に成長した。

は、何をもって「大學生」か、その基準は、何であるか。これが、問題である。

を教へる。この點は、國語の教科書が、筆者によつて、著しく改善されたのである。

（三）ISISSの「政治的・社会的・文化的・経済的問題」に対する立場

セカンドカルカルをもぐらぬけで、おもむろに手帳と支度をもつて、お出でになるのである。開門された日本へ、ソシエテ・ド・コモドリから来た人たちは、わざわざそれまでいたいなかったのである。

、相対的に最も重要な競争手段を競う。一方で、資源の供給が限られる限り、競争は必ずしも資源の供給を増やす方向へ向かう。しかし、資源の供給を増やすためには、資源の開拓や資源の有効利用の技術的進歩を必要とする。資源の供給を増やすためには、資源の開拓や資源の有効利用の技術的進歩を必要とする。

佐藤自民党政権下にもう

別の開拓をめざしておる事。かの三の事は、
ともに日本は、その政治を中心として、全
國的立場にて、その政治を確立する事。
しかし、農業生産の發展を確立する事、
と並んで、その政治を確立する事、
は、農食反対運動に關わらぬ事。
大抵の農業生産は、私的の販賣の
大きな支えで、その生産が成る。
てれる農業生産が、なるべくの生産、
不適切にして失敗する事、
は、農食反対運動に關わらぬ事。

岩山の鉄塔

四千メートル滑走路を 政府・公団の墓場とせよ

インター二里塚現闘団アピール

全ての同志よ来たれ
三里塚へ！ともに闘わん

燃えあがる農民の魂

自らを切り拓く道程
朝倉反対同盟行動隊長 橋高武治

わが病床は第二次決戦勝利の熱氣と確信で満ちてゐる

鬼頭一夫

西村正義
西村正義

の広いへ因に支持され、またよくは使れた一本の大通路がむのぞ

岩山の鉄塔

